

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第1区分

【発行日】平成23年2月17日(2011.2.17)

【公表番号】特表2010-526995(P2010-526995A)

【公表日】平成22年8月5日(2010.8.5)

【年通号数】公開・登録公報2010-031

【出願番号】特願2010-506846(P2010-506846)

【国際特許分類】

G 0 1 N 33/574 (2006.01)

G 0 1 N 33/48 (2006.01)

G 0 1 N 33/72 (2006.01)

【F I】

G 0 1 N 33/574 A

G 0 1 N 33/48 G

G 0 1 N 33/72 A

【手続補正書】

【提出日】平成22年12月21日(2010.12.21)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

- a) 個体から得られた便試料を提供する工程、
- b) 前記試料とTIMP-1に特異的な結合剤を、前記結合剤とTIMP-1の複合体の形成に適した条件下で接触させる工程、
- c) 工程(b)で形成された複合体の量を測定する工程、および
- d) 形成された複合体の量と結腸直腸癌の検出を相関する工程を含む、結腸直腸癌の検出方法。

【請求項2】

- a) 個体から得られた便試料を提供する工程、
- b) 前記試料とTIMP-1に特異的な結合剤を、前記結合剤とTIMP-1の複合体の形成に適した条件下で接触させる工程、
- c) 前記試料と、ヘモグロビン/ハプトグロビン複合体、ヘモグロビン、カルプロテクチン、および腫瘍M2ピルビン酸キナーゼ(M2-PK)からなる群より選択される第2のマーカースに特異的な結合剤を、前記結合剤と第2のマーカースの複合体の形成に適した条件下で接触させる工程、
- d) 工程(b)および(c)で形成された複合体の量を測定する工程、ならびに
- e) 工程(b)および(c)で形成された複合体の量と結腸直腸癌の検出を相関する工程を含む、結腸直腸癌の検出方法。

【請求項3】

前記第2のマーカースがヘモグロビンである請求項2記載の方法。

【請求項4】

前記第2のマーカースがヘモグロビン/ハプトグロビン複合体である請求項2記載の方法。

【請求項5】

抽出バッファを使用して便試料を処理し、前記処理された便試料からTIMP-1を特異的に測定する、請求項1～4いずれか記載の方法。

【請求項 6】

便試料を提供する工程において、抽出バッファを含む便回収デバイスを使用する、請求項1～5いずれか記載の方法。

【請求項 7】

特異的結合剤が抗体である、請求項1～6いずれか記載の方法。

【請求項 8】

個体から得られた便試料からの結腸直腸癌の検出における、マーカー分子としてのタンパク質TIMP-1の使用。

【請求項 9】

個体から得られた便試料からの結腸直腸癌の早期検出における、マーカー分子としてのタンパク質TIMP-1の使用。

【請求項 10】

個体から得られた便試料からの結腸直腸癌の検出における、ヘモグロビン/ハプトグロビン複合体、ヘモグロビン、カルプロテクチン、および腫瘍M2ビルビン酸キナーゼ (M2-PK) からなる群より選択される結腸直腸癌のための1つ以上の他のマーカー分子と組み合わせた、結腸直腸癌のためのマーカー分子としてのタンパク質TIMP-1の使用。